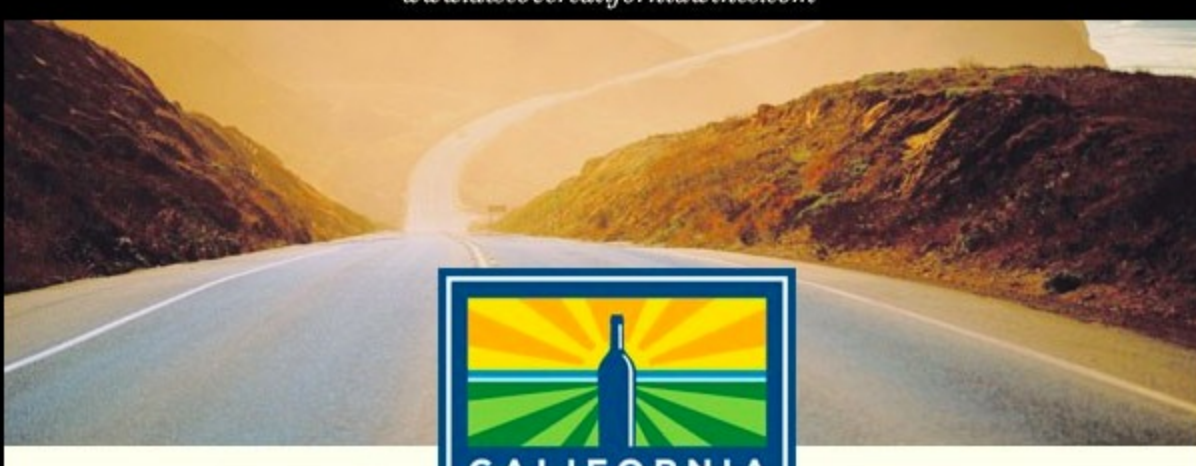


# DISCOVER CALIFORNIA WINES

www.discovercaliforniawines.com



こんにちは、カリフォルニアワインです。

世界的に広く報道された、10月にカリフォルニアで発生した山火事は何千という建物を破壊しましたが、ブドウ畑やワイナリーの被害は限定的でした。今回被災したナパ郡、ソノマ郡、メンドシーノ郡のブドウ栽培面積はカリフォルニア全体の12%なのですが、火災発生時点でナパとソノマでは90%、メンドシーノでは85%のブドウがすでに収穫を終えており、影響は軽微でした。ワイナリーでは2017年ヴィンテージの醸造が進められており、晩秋から初冬にかけての美しい季節にたくさんの観光客を招き入れています。

## ブドウからグラスへ

- 山火事被災者支援 ワイナリーやレストランは、売り上げの一部を寄付するといった方法で、被災者支援に立ち上がっています。慈善活動も活発に行われており、[ChefsGiving](#)のサイトでは、百万ドルの募金を目指してベイエリアのレストランが特別ディナーを提供し、被災者の住宅の復旧を支援します。[Visit California's "Grateful Table" fundraising event](#)も同様です。個別に寄付を行う場合は、[Napa Valley Disaster Relief Fund](#)や[Sonoma County Resilience Fund](#)、[Community Foundation of Mendocino County](#)などが寄付を受け付けています。
- 2017年収穫レポート 本年度はブドウの成長期に天候に恵まれ、高品質のブドウが収穫できました。シーズンの始まりは雨が多く、貯水池を満杯にしてくれましたし、5年間続いた干ばつによって乾燥した土壌に潤いをもたらしてくれました。ブドウの成熟は例年並みのペースで進行しましたが、8月の末から9月にかけての熱波により、登熟が進みました。9月中旬になって気温が涼しくなり、成熟がゆっくりと進むようになり、収穫のペースは遅くなりました。熱波のため、収量は例年よりも少なくなっていますが、非常に高品質のブドウが収穫できたと報告されています。特に、成熟の早い白ワイン用品種と、晩熟の赤ワイン用品種の品質が良好です。詳細な収穫レポートは[こちら](#) (英文) にあります。
- 最近カリフォルニアを訪問した米国人観光客2,000名を対象としたアンケートの結果が発表され、観光客がワイナリーや産地にどのようなことを望んでいるかが報告されています。60%の訪問者は日常生活においてワインが「とても重要」または「重要」と考えており、自身のことを「ワインに非常に詳しい」と考えています。詳細なアンケート結果は、ワインインスティテュートの[サイト](#)上で閲覧できます (英文)。
- 環境保全 2010年に導入されたカリフォルニア・サステイナブル・ワイングローイング・アライアンス(CSWA)のサステイナブル認証が改訂され、新しいロゴをワインのラベルに表示できるようになりました。表示するためには、85%以上のブドウが認証された畑から収穫されたものでなければならず、また、100%カリフォルニア産でなければなりません。このロゴが表示されたボトルが市場に出荷されるのは、2018年の年初になりそうです。



## 農場からテーブルへ



トマト、黒オリーブ、レモン、  
バジルを添えた“ブッタネスカ”風サーモンのフライパン焼き

4人分

コクが魅力のイタリアンのブッタネスカソースにレモンとバジルを加えた新しい味のソースが、バターたっぷりのサーモン料理に爽やかな風を吹き込みます。カリフォルニア・シャルドネまたはピノ・ノワールと一緒に楽しみください。

詳細な日本語のレシピは[こちら](#)にあります。

季節の料理のレシピとカリフォルニアワインの組み合わせは[こちら](#)から。

## 世界市場での活動

- イギリスとアイルランド 9月にロンドンとダブリンで試飲会を開催し、1,000名を超えるバイヤーやメディア、ワイン専門家の方々にご参加いただき、カリフォルニアワインの多様性を説明させていただきました。ロンドン会場となったのはウエストミンスター寺院のカレッジ・ガーデンで、試飲や昼食のサービス、セミナーが行われました。セミナーの講師はカリフォルニアワインの権威であるケリー・ホワイトとカレン・マクニールでした。ダブリンで行われたイベントは、アイルランドにおける過去最大規模となりました。アイルランド向けのカリフォルニアワインの輸出は2014年以降76%の伸びを示しています。
- カナダ 9月にブリティッシュ・コロンビア州の60店を超える酒販店で、12種類のカリフォルニアワインをフィーチャーしたプロモーションが実施されました。50軒を超える店舗では試飲が行われ、2店舗ではスペシャルイベントも実施されました。雑誌「テイスト」にフルページのプロモーション告知を出稿し、陳列棚のエンドではワインのディスプレイが行われました。
- 日本 9月中旬、日本から15名の流通のバイヤーをカリフォルニアに招待し、サンタ・バーバラ、パソ・ロブルス、サンタ・クルーズ、リヴァモア・ヴァレー、ナパ・ヴァレー、ソノマの各産地を訪問しました。
- 中国 ワインインスティテュートは11月14日から16日にかけて上海で開催されたProWine Chinaに出展しました。また、11月18日にリッツカールトン浦東で実施された [Decanter Fine Wine Encounter](#) でカリフォルニアワインが特集されました。

